

「火山防災の日」制定記念イベント

火山災害体験者として語る 「火山」とは？

雲仙岳災害記念館館長 杉本伸一

1

今日の話題

- ① 3つの涙
- ② 国際会議からジオパーク
- ③ 危険な場所に住み続けるのか

2

① 3つの涙

3

2本の噴煙から始まった



住民の取った行動 消防署へ山火事の通報が相次ぐ
火山としての認識がなかった

4

新たな火口が誕生 1991年2月12日



普賢神社裏の屏風岩で新たな噴火
多量の降灰をもたらした

5

溶岩ドームが出現



5月12日ごろから、火山性地震が普賢岳の直下で頻発
5月20日 地獄跡火口で溶岩ドームが出現

6

火砕流発生



5月24日
最初の火砕流発生

5月26日
砂防ダム除石現場の
作業員が火傷

**普賢岳が発した
最初の警告**

7



8

43名の命が失われた

大切な命



1つ目は、**悲しみの涙**でした。

消防団 12名

警察 2名

マスコミ 16名

タクシー 4名

火山学者 3名

住民 6名

9



人々の営みを破壊した
火砕流と土石流

10

自然の力の大きさ

自然に対して、人間の力では、
どうにもならない、どうする
こともできない

2つ目は、

くやしい涙でした。



11

全国からの支援

義援金
救援物資 温かい心
励ましの手紙

3つ目は、

感謝の涙でした。



12

② 国際会議からジオパーク

13

火山都市国際会議の成功

- 研究者・行政・市民・ボランティアの連携
- このままで終わるのは惜しいよね
- **ジオパークの認定に繋がる**



14

ジオパークで、何ができるか？

Geo: 大地(地球)、地質

ジオパークでは**大地ジオ**だけでなく、
ジオの上に広がる**動植物**や**生態系エコ**、
そのエコの中で、**私たち人ヒト**は生活し、文化
や産業などを築き、歴史を育んでいる
ジオパークでは、これらの**ジオ・エコ・ヒト**
の**3つの要素**のつながりを楽しく知る

15

ジオパークと防災

ジオパークは

- 目の前の地形を眺め、直接手に触れ、ガイドやインタプリターと**大地の営み**について、対話できる野外学習の場所
 - **大地がもたらす恵みと災い**を、発見することができる
-
- ジオパークで、**自然の驚異**を学び、**自然の仕組みや恵み**を理解する中で、**将来の災害にどう備える**か考えることができる

16

③ 危険な場所に 住み続けるのか

17

なぜここに住み続けるのか



写真：内島幸治撮影

18



19



20

ありがとうございました



21